

オーストリアの教育



オーストリアは、従来から青少年の育成に高い重要性を認めてきました。特に青少年の実務教育は長い伝統を誇ります。その基礎となってきたのは営業法です。こうした発展のおかげで、今日のオーストリアは、研究部門と並んで青少年の職業訓練でもトップクラスに立っています。これは、生産部門だけでなく、サービス業でも同じです。ですから、例えば世界中の高級ホテルで、オーストリア人の支配人に出くわすことも珍しくありません。

オーストリアの学校教育制度

オーストリアの一般義務教育は、満6歳で始まり、9年間で修了します。学校には私立と公立があり、どちらの学校に就学するかは自由に選択できますが、オーストリアでは私立の学校は比較的少なく、公立の学校は授業料が無料です。オーストリアの学校教育制度では、児童及びその両親の様々なニーズや関心に答えるために、多様な進路が提供されています。

初等教育／小学校（第1段階）

オーストリアの学校教育は、4年制の国民学校（Volksschule：小学校）から始まります。

中等教育 前半／小学校-中学校（第2段階I）

初等教育を終えると、基幹学校（Hauptschule：中学校）と一般教育中学校（Unterstufe einer allgemein bildende höhere Schule／AHS：ギムナジウム低学年）の2種類の学校いずれかを選択します。いずれの学校も4年制です。

中等教育 後半／中学校-高等学校（第2段階II）

義務教育の最後の学年は、第2段階IIの最初の学年にあたります。この時点で、学校教育制度の違いが大きく出てきます。つまり、職業教育と一般教育のいずれかの進路の選択制となるのです。職業教育の進路では、研修教育課程（Lehrlingsausbildung：企業及び学校で行われる職業研修）、職業

教育中等学校（berufsbildende mittlere Schule／BMS）、または職業教育高等学校（berufsbildende höhere Schule／BHS）を修了することができます。一般教育課程では、一

般教育高等学校（Oberstufe allgemeinbildender höhere Schule／AHS：ギムナジウム高学年）の課程を履修します。生徒のおよそ80%が、中等教育前半終了後、職業教育課程に進んでいきます。

高等教育（中等教育終了後）／大学、大学院、専門学校（ポスト第2段階および第3段階）

一般教育高等学校（AHS）や職業教育高等学校（BHS）を修了した場合や、職業熟練試験や大学入学資格試験に合格した場合、生徒は大学入学資格を得て、次のような課程に進むことができます。社会福祉・医療関係の特定職業の資格を得るためのアカデミー、主としてAHS卒業者のうち、進路変更してさらにBHS課程を履修しようとする者のためのカレッジ、また義務教育学校の教諭を育成する教育大学。

それに加えて、第3段階として単科大学と総合大学があります。この2つの教育機関には、新しい大学履修法により、3年制の学士課程とその上にある最低2年制の修士課程が設けられています。また同教育機関において、ディプロマ課程（学士と修士課程をひとつにしたもの）の履修も可能です。修士課程もしくはディプロマ課程を修了した者は、総合大学で博士課程に進学することができます。オーストリアでは、16歳の若者のおよそ80%が職業教育課程を履修しています。そのうち、39%が研修教育課程（事業所実務訓練と職業学校）、27%が職業教育高等学校、13%が職業教育中等学校で学んでおり、残り21%が一般教育中高等学校に通っています。

就業者の学歴

オーストリアの全就業者の40%が研修課程出身、17%が義務教育のみ、14%が職業教育中等学校卒、10%が職業教育高等学校卒、10%が大学卒、6%が一般教育高等学校卒です。オーストリアのポスト第2次段階および第3次段階の高等教育履修率は55.5%で、EU内ではアイルランド、英国、デンマークに次ぐ地位にあります。

オーストリアの職業教育学校制度

職業学校（Berufsschulen）

満15歳の若者が研修生として事業所に入ると、この事業所と職業訓練契約を締結したことになり、並行して職業学校に通うことを義務付けられます。この課程は、事業所と職業学校の両方で知識を習得するため、「並行職業教育課程」と呼ばれています。その際、職業学校は職業に付随した授業の形で理論的な基礎知識を提供し、事業所での訓練を補完していきます。また、一般教養も広げていくことができます。授業の期間と学習内容は、それぞれの職種によって異なります。授業は週に一回の割合か、連続で年に8週間行われ、研修期間は



ウィーン商業アカデミー (絵写書・1900年)

平均3年ですが、職種によっては2年又は4年のものもあります。現在、研修職種として250の職業が認定を受けています。研修期間が終わると、研修生は研修修了試験（口頭と筆記）を受けます。これにより、研修訓練を受けた職種に必要な技術と知識があるかどうか、また研修生がその職業に要求される作業を専門的に遂行できるかどうか判断されます。

職種によって、引き続きマイスター（親方）試験や技能証明試験を受験する資格を得る機会が与えられます。また、職業熟練試験または大学入学資格試験を受けて、単科大学、総合大学、専門単科大学、コレーク（高等補修学校）、アカデミーでの勉学を目指すこともできます。研修を通じた職業訓練はオーストリアで長い伝統を誇っています。

クラムザッハ・ガラス専門学校 (Glasfachschule Kramsach)

クラムザッハ・ガラス専門学校はオーストリアで唯一のガラス専門学校です。ここでは、ガラス工芸技術のほかに、ガラス素材に関する将来的な可能性を学びます。ガラス素材を原料として、新たな活用方法が常に誕生しています。クラムザッハ・ガラス専門学校では高いレベルの工芸技術とデザインが教えられ、また学生一人ひとりの可能性を広げることが重要視されています。クラムザッハ・ガラス専門学校には以下の課程があります。



授業の様子

1. 専門学校 (4年制)

満14歳で入学となり、4年制です。下記の学科の専攻が可能です。

ガラス工学科 ガラス工芸学科

ガラス容器製造学科 吹きガラス科

専門学校修了後に マイスターもしくは職長を目指す者には、7週間のマイスターコースを追加し、その後マイスター試験を受験することができます。

2. 高等訓練コース：手工芸技術とガラス技術

専門学校教育終了者が対象で、4半期制 (2年間)。

3. 工芸・オブジェクトデザイン高等補修学校 (コレーク)

大学入学資格試験合格者が入学対象で、面接試験の際には自分のデザインの持参が必要。工場実技では、課題を遂行するために必要な技術と素材の使用が実践的に教えられます。中心の素材であるガラスを軸に、金属、プラスチック、木材、石材などの異素材を学び、加工を学びます。



クラムザッハ・ガラス専門学校



授業の様子

卒業制作

卒業制作は卒業試験の主要部分となります。学生自身が時間配分や使用する材料の決定などにおいて責任を持ち、担当教諭の指導のもとで2~3ヶ月の期間で卒業制作を行ないます。この卒業制作は実践的で、ガラスという中心的な素材から新たに試験的なフィールドへの広がりを可能にします。



生徒の作品



生徒の作品

スキー高等学校 シュタムス (Schigymnasium Stams)

スキー選手専門の寄宿学校では、商業学校（4年制）と高等学校（理系の4年制）の2種類の教育分野を提供しています。教育の目的はいずれの学校において大学入学資格試験、または修了試験に合格することです。スポーツ教育は大変な時間を要する為、通常の教育に比べ1年程長い学校教育が施されます。

授業時間は競技日程に合わせて編成されており、秋のトーナメントに向けた準備期間中と、トーナメントシーズン中は授業時間が少なくなります。足りない授業日数は、様々な形で補っています。（例：トーナメントシーズン前後の土曜日の授業、通常の学校より学年修了が1週間遅い等）競技事情や怪我による長期欠席などを要する生徒には、補習を行います。

トーナメントシーズン終了後に、週二日午後に補講授業を行います。この期間中は、トレーニング量が減らされます。このようなカリキュラムを通し、その時々での学習目標の達成に近づけていくのです。主に競技事情や怪我による長期欠席を要する生徒のために、学習プラットフォームを用意しています。生徒は学習プラットフォームを活用することにより、学校での出来事の情報を得たり、学習内容を検索したり、必要な知識を習得することができます。スキー選手専門の寄宿学校は公的にも認められています。成績証明書や試験は全ての公的機関から認定されており、公立の学校と同等のものと同様に扱われています。



スキー高等学校 シュタムス



女子寮

教育目標

学校の教育目的は、スポーツにおいては専攻部門で高い成績を残し、かつ、専攻分野の学業を修めることにあります。入学試験はスポーツ選抜試験形式で数日にわたって行なわれます。寄宿学校に通う生徒は、2学年修了時まで規定の成績を残さなければなりません。この成績は、同年代のオーストリア最高のアルペン及びノルディックスキー選手のレベルと比較されます。意欲、練習への熱意、持久力が前提とされ、時間的な負担も含めたスポーツに関する負荷は平均以上のものが要されます。

農林業学校 (Land-und forstwirtschaftliche Schulen)

農林業学校は5年制で、実際の農林業知識に加え、農林業に関する経営・管理などのマネジメント全般を学びます。

ブルック農業専門学校 (Landwirtschaftliche Fachschulen Bruck)

学生の将来の方向性により、下記のように様々な教育分野を提供しています。

専業農家

農業専門教育課程には、作業機技術、森林管理、植物栽培学、家畜飼養、家畜医学、酪農学、作業

場建設学、果実栽培、帳簿会計学、経営学および市場学

兼業農家 (初心者対象)

手工業訓練、金属および木材加工など各種職業訓練期間に単位を算入可

観光業

レストラン学科にて、調理と献立の立て方を学ぶコース

副業

直接販売、スキー・スノーボード教師養成



ブルック農林業学校



木材加工



牛の飼育



プライベートは音楽でリラックス

(写真提供：ブルック農業専門学校)

技能五輪国際大会 静岡

2007年11月14日から21日の間、第39回技能五輪国際大会が静岡県で開催されました。技能五輪国際大会は職業訓練における手工業や工業技術が競われる国際的な大会です。2年に一度、世界各地で開催される当大会に今回は47ヶ国から830名が参加。25回目の連続出場となるオーストリアからは22歳未満の女性5名、男性23名の若き職人が参加しました。

オーストリアは工場電気設備、広告美術部門で金メダル、CNC旋盤部門で銀、配管部門で銅メダルを受賞しました。開催国の日本は計24個のメダルを獲得、うち金メダルは16個でした。



第39回技能五輪国際大会 オーストリア・チーム
(写真提供：オーストリア連邦産業院)